

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月8日

上場会社名 Fringe81株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6550 URL <https://www.fringe81.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 田中 弦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 川崎 隆史 TEL 03-6869-6681
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

（1）連結経営成績（累計） （％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,847	△5.8	△209	—	△213	—	△272	—
2019年3月期第2四半期	3,023	—	105	—	104	—	189	—

（注）1. 包括利益 2020年3月期第2四半期 △276百万円（－％） 2019年3月期第2四半期 189百万円（－％）
 2. 2018年3月期第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、前々年同四半期増減率は記載していません。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△27.72	—
2019年3月期第2四半期	19.35	18.13

（注）1. 当社は、2018年5月11日開催の取締役会において、2018年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行うことを決議いたしました。これに伴い、2019年3月期第2四半期につきましては、期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を計算しています。
 2. 2020年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,202	1,215	37.4
2019年3月期	3,749	1,479	39.2

（参考）自己資本 2020年3月期第2四半期 1,198百万円 2019年3月期 1,471百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,295	6.8	△621～ △428	—	△633～ △440	—	△656～ △463	—	△66.92～ △47.28

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）Fringe coo株式会社

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- （4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	9,860,000株	2019年3月期	9,813,200株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	132株	2019年3月期	132株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	9,827,665株	2019年3月期2Q	9,809,523株

（注）当社は、2018年5月11日開催の取締役会において、2018年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行うことを決議いたしました。これに伴い、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、「期中平均株式数」につきましては、2019年3月期期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高は2,847,678千円(前年同期比5.8%減)となりました。利益面では、営業損失は209,619千円(前年同期は営業利益105,343千円)、経常損失は213,475千円(前年同期は経常利益104,098千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失272,435千円(前年同期は四半期純利益189,773千円)となりました。

当第2四半期連結会計期間においては、第1四半期連結会計期間に比べ広告事業が大きく限界利益(売上高から媒体費を控除したもの)を伸ばしました。広告事業の限界利益は第1四半期連結会計期間の134%に増加、Unipos事業の限界利益の増加も伴って、全社の限界利益も第1四半期連結会計期間の132%に増加しました。当第2四半期連結累計期間では前年同期比95%となりましたが、これはUnipos事業への営業人員の異動やソリューションの売上減の影響によるものであります。

Unipos事業においては、2019年9月時点のUnipos事業の累計有料導入社数は約310社、累計アカウント数は約3万7千人、月次継続率は99.4%と、良好な水準を維持しております。当連結会計年度において当社グループは、Unipos事業に対しマーケティング等の成長投資を実行しております。当第2四半期連結会計期間においては、第1四半期連結会計期間に比べ成長投資の金額を増加させ、第1四半期連結会計期間の0.55億円から、当第2四半期連結会計期間の1.31億円に増加しております。

広告事業においては、既存の広告主及びパートナーシップが順調に事業進捗しました。また、Uniposで成果を実証したマーケティング手法を用い、他のSaaS(Software as a service)企業の成長支援をするサービスを開始しました。Fringe81株式会社の子会社であるFringe coo株式会社がマーケティング支援に活用してきた「パーセプションフロー®・モデル(注)」をUniposに適用し、マーケティング面及び組織構築に大きな成果を挙げております。この実績を横展開し、SaaS企業の成長を支援するサービスを開始しました。10年以上にわたりネットマーケティングの支援をしてきた広告事業と、SaaSの事業であるUniposの両方を持つ、当社グループならではのサービスと考えております。

なお、当社グループはインターネット関連事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

(注) 「パーセプションフロー・モデル」は、顧客の認識(パーセプション)への働きかけを通じて「いい商品/サービス」の新たな定義を提案し、自社にとって有利な市場を創造するためのフレームワーク。また、顧客体験の全体像を中心に活動が可視化され、組織の共通言語となることで各部門の役割が明確になり、組織の意思疎通を図れる。株式会社クー・マーケティング・カンパニー 音部大輔氏によって考案。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の財政状態の分析は、以下のとおりであります。

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は3,202,535千円となり、前連結会計年度末に比べ547,006千円減少いたしました。

流動資産は1,779,053千円となり、前連結会計年度末に比べ545,729千円減少いたしました。これは主として現金及び預金が225,778千円、売掛金が257,123千円減少したことによるものであります。

固定資産は1,423,482千円となり、前連結会計年度末に比べ1,277千円減少いたしました。これは主としてソフトウェアが157,033千円増加した一方で、建物が10,257千円、ソフトウェア仮勘定が37,981千円、敷金及び保証金が104,021千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,987,429千円となり、前連結会計年度末に比べ282,977千円減少いたしました。これは主として短期借入金50,000千円、その他流動負債が89,380千円増加した一方で、買掛金が274,615千円、長期借入金132,458千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,215,106千円となり、前連結会計年度末に比べ264,028千円減少いたしました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純損失272,435千円を計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して225,778千円減少し、719,012千円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、119,980千円のマイナスとなりました。これは主として、税金等調整前四半期純損失213,219千円、減価償却費107,840千円、売上債権の減少額255,303千円、仕入債務の減少額269,096千円、法人税等の支払額46,124千円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、107,885千円のマイナスとなりました。これは主として、無形固定資産の取得による支出204,449千円、敷金及び保証金の回収による収入102,093千円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、97,631千円のマイナスとなりました。これは主として長期借入金の返済による支出151,247千円、短期借入金の増加額50,000千円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月10日の決算短信で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	944,790	719,012
売掛金	1,147,872	890,748
その他	232,230	169,378
貸倒引当金	△111	△85
流動資産合計	2,324,782	1,779,053
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	324,992	314,734
その他(純額)	44,812	40,582
有形固定資産合計	369,804	355,317
無形固定資産		
ソフトウェア	477,783	634,817
ソフトウェア仮勘定	50,827	12,845
その他	6,891	6,650
無形固定資産合計	535,502	654,313
投資その他の資産		
敷金及び保証金	498,658	394,636
その他	20,793	19,215
投資その他の資産合計	519,451	413,852
固定資産合計	1,424,759	1,423,482
資産合計	3,749,541	3,202,535
負債の部		
流動負債		
買掛金	746,517	471,902
短期借入金	300,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	283,745	264,956
未払法人税等	61,543	65,048
その他	102,373	191,753
流動負債合計	1,494,180	1,343,660
固定負債		
長期借入金	776,227	643,769
固定負債合計	776,227	643,769
負債合計	2,270,407	1,987,429
純資産の部		
株主資本		
資本金	512,919	514,727
資本剰余金	593,119	594,927
利益剰余金	365,466	93,030
自己株式	△135	△135
株主資本合計	1,471,370	1,202,550
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	-	△3,930
その他の包括利益累計額合計	-	△3,930
新株予約権	7,764	16,485
純資産合計	1,479,134	1,215,106
負債純資産合計	3,749,541	3,202,535

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	3,023,690	2,847,678
売上原価	2,120,349	2,056,070
売上総利益	903,340	791,608
販売費及び一般管理費	797,996	1,001,227
営業利益又は営業損失(△)	105,343	△209,619
営業外収益		
受取利息	2	357
助成金収入	-	395
雑収入	-	138
営業外収益合計	2	891
営業外費用		
支払利息	739	4,177
支払手数料	501	518
その他	7	52
営業外費用合計	1,247	4,747
経常利益又は経常損失(△)	104,098	△213,475
特別利益		
本社移転に伴う支度金	190,000	-
固定資産売却益	49	256
特別利益合計	190,049	256
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	294,147	△213,219
法人税等	104,374	59,216
四半期純利益又は四半期純損失(△)	189,773	△272,435
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	189,773	△272,435

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	189,773	△272,435
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	-	△3,930
その他の包括利益合計	-	△3,930
四半期包括利益	189,773	△276,365
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	189,773	△276,365
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	294,147	△213,219
減価償却費	143,272	107,840
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△194	△26
受取利息及び受取配当金	△2	△357
支払利息	739	4,177
株式報酬費用	-	8,721
固定資産売却損益(△は益)	△49	△256
売上債権の増減額(△は増加)	573,501	255,303
仕入債務の増減額(△は減少)	△391,199	△269,096
前払費用の増減額(△は増加)	△4,959	△54,424
未払金の増減額(△は減少)	37,983	99,038
未払費用の増減額(△は減少)	△21,496	185
未払消費税等の増減額(△は減少)	△30,188	-
その他	2,168	△7,930
小計	603,722	△70,043
利息及び配当金の受取額	2	357
利息の支払額	△746	△4,170
法人税等の支払額	△104,620	△46,124
営業活動によるキャッシュ・フロー	498,357	△119,980
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,516	△4,178
有形固定資産の売却による収入	49	256
無形固定資産の取得による支出	△129,256	△204,449
敷金及び保証金の差入による支出	△191,861	△1,608
敷金及び保証金の回収による収入	1,557	102,093
投資活動によるキャッシュ・フロー	△324,027	△107,885
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△110,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△30,006	△151,247
株式の発行による収入	600	3,615
財務活動によるキャッシュ・フロー	△139,406	△97,631
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	△3,930
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	34,924	△329,427
現金及び現金同等物の期首残高	521,747	944,790
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	103,649
現金及び現金同等物の四半期末残高	556,672	719,012

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より、Unipos GmbHを連結の範囲に含めております。また、当第2四半期連結会計期間より、Fringe coo株式会社を新設分割により設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

当社グループは、インターネット関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。